

SDGs スタートアップ研究分科会・2020 年度ベーシックコース第 3 回実施報告

2021 年 2 月 23 日

PMI 日本支部

SDGs スタートアップ研究分科会

分科会代表 稲葉 涼太

去る 2 月 19 日(金)、SDGs スタートアップ研究分科会のベーシックコース第 3 回の会合を開催しましたのでご報告いたします。

1. 2020 年度 SDGs スタートアップ研究分科会の概要

■ 【SDGs スタートアップ研究分科会とは】

PMI 日本支部は、SDGs 達成プロジェクトを効果的に軌道に乗せ推進する方法の開発・普及を図るために、昨年 10 月から内閣府「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に「SDGs スタートアップ研究分科会」を設けています。

本年度は、SDGs プロジェクトのマネジメント手法を学ぶ「ベーシックコース」と、実際に事業として行っている SDGs プロジェクトを支援する「アドバンスコース」の二本立てで実施しております。

A) アドバンスコースについて

アドバンスコースは原則として昨年度のベーシックコースに参加された団体で実際に実行されている SDGs プロジェクトを対象として PM 支援を行っています。

B) ベーシックコースについて

SDGs が社会に浸透し、「Why SDGs?」と「What is SDGs?」が提唱される機会も増えました。SDGs を絵に描いた餅にしないために実際に SDGs を事業として推進することが大切です。

しかし、SDGs 事業の取り組みを始めようとしても立ち上げ推進が中々効果的にできていないという課題認識を私達は持っています。

「How To Achieve SDGs」のために SDGs 事業に即したプロジェクトマネジメント手法である『SDGs スタートアップ手法』を研修・ワークショップ形式で体得できるコースです。

本年度も、企業・自治体・学校・宗教法人等 20 団体近くの多様なバックボーンを持つ団体に参加いただいています。

2020 年度全 3 回の分科会を開催しました。

PMI日本支部 SDGsスタートアップ研究分科会概要

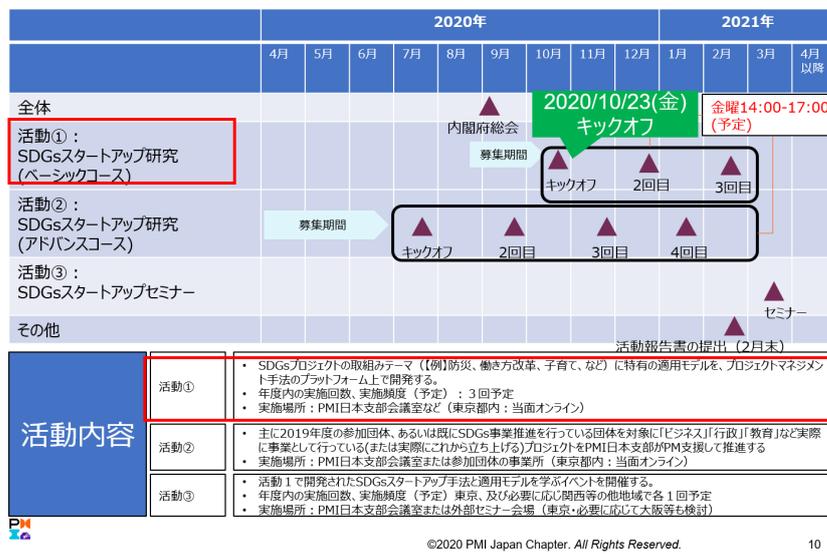


図1 SDGs スタートアップ研究分科会のスケジュール

2. 第3回分科会概要

- 開催日時：2021年2月19日（金）14時00分～17時00分
- 会場：オンライン(ZOOM)

当日の概況：

新型コロナ禍の中、引き続きオンライン開催となりましたが、多くの地域から多様な業種の12名の方に参加いただきました。

当日のアジェンダは以下。

1. イントロダクション
2. チェックイン
3. 講義:ベネフィットリスト
4. ワークショップ:ベネフィットリスト演習
5. 分科会ふりかえり (ORID)
6. 今後の説明
7. オンライン交流会

第3回のテーマは「ベネフィットリスト」というPMI日本支部のオリジナル手法です。SDGs事業がもたらすベネフィットと受益者を明確にし、事業評価を定量的に行い、事業が上手くいっているのか改善や方向転換の必要があるのかを検証するとともに、ステークホルダーへの報告とコミュニケーションを行うためのツールです。

事業がもたらすベネフィットの定量的な評価を素早く検証することで、事業が上手くいっているのかそれとも見直しが必要か、見直す場合どのようなカイゼンやピボットが必用かを考えることができます。

また、SDGsの事業を行うためには組織単体ではなく異なる組織でインパクトを集めて創発するコレクティブインパクトの話も講義の中で触れましたが、コレクティブインパクトを実現するにはより透明で正確性のあるコミュニケーションが信頼構築の上で大事です。コミュニケーションを行う上でも、定量的な評価は大事でそのためにもベネフィットが有効であると考えます。

第1回講義にてリーンキャンバスでSDGs事業コンセプトを可視化した後、第2回でSDGs事業のロジックモデルを策定し、第3回で目標の設定と評価を行い、軌道修正をしながらSDGs事業を推進するアジャイルなアプローチを体得する研修三部作でした。

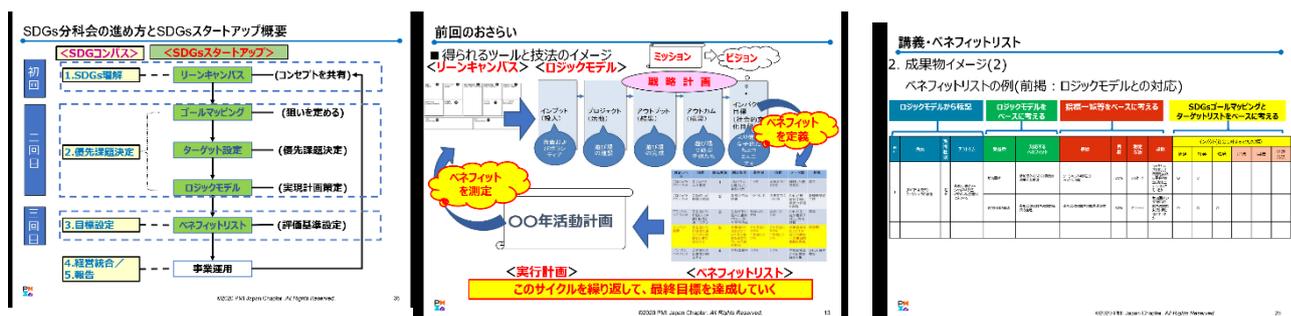


図2 講義資料

後半のワークショップではPMI側がロールプレイ用に用意した、マルチステークホルダー型の仮想SDGs事業シナリオを元に進めました。

- ① 主要顧客とベネフィットの決定
- ② 評価指標の決定
- ③ 指標の測定方法の決定
- ④ 社会的インパクトの分類を行いベネフィットリストを作成しました。



図3 ワークショップの様子

ベネフィットリストを作成した後、ORID というふりかえりフレームワークを用いて全3回の分科会のふりかえりを行いました。

参加団体の方から「全3回を通じて学んだフレームワークや方法論がSDGs事業を行う上で有効性の高いことが分かった」、「この分科会での他団体との交流自体によって考え方が広がった」などの声をいただきました。

3. 今後の活動予定

3/13(土)に、2020年度の分科会の集大成として「SDGs スタートアップセミナー」を開催します。

本記事の作成時点でお申し込み400名に達しようとしています。

大幅に増員設定しましたのでご興味ある方はご参加いただけますと幸いです。

- 日時：2021年3月13日(土) 14時00分～17時00分(参加無料)
- 会場：オンライン(ZOOM)
- 主催：PMI日本支部
- 主な内容
 - ・ 稲葉涼太：『SDGs スタートアップ方法論』の提唱
 - ◇ PMI日本支部 SDGs スタートアップ研究分科会 代表
 - ・ 内海康雄様：舞鶴地域における小河川の浸水対策について
 - ◇ 舞鶴工業高等専門学校 校長
 - ・ 小坪拓也様：企業版ふるさと納税を活用した地方創生SDGs事業の推進について
 - ◇ 企業版ふるさと納税コンサルタント／river認定講師／地方創生SDGsファウンデイザー
- 後援：内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」
特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会

■ 「SDGs スタートアップセミナー」ご案内ページ

セミナーの詳細とお申込みについては下記のリンク先をご覧ください。

https://www.pmi-japan.org/event/open_seminar/other/2021_01_07_sdgs20210313.php

引き続き参加団体及び PMI 日本支部としての活動メンバーを募集しています。

お申込み等に関する詳細は下記のリンク先をご覧ください。

https://www.pmi-japan.org/news/info/2020_07_30_sdgs20200803.php

ご参照・問い合わせ先：PMI 日本支部 SDGs 担当(sdgs@pmi-japan.net)